2021 年度　≪第 18 回≫

関西経営品質賞

「関西経営品質賞」のミッション

**「“良い経営”を通じて関西から
世界に誇る企業・組織を輩出する」**

このミッションのもとで、次の２点の実現を目指します。

①関西地域において、「経営品質向上プログラム」の考え方による経営革新を行ない、それが実績につながっている組織を表彰することによって、目指すべき“良い経営”を示します。

②申請される組織が、「経営品質向上プログラム」の目的である“良い経営”を目指し、自らの経営を自らが振り返ることによって、つまり、申請書の作成における気づきと、審査過程（アセスメントからフィードバック会議まで）における気づきによって、更なる経営革新を実現していくことを支援します。

「関西経営品質賞」創設宣言

（2004.4.15「関西生産性大会 2004」にて）

関西経営品質賞判定委員長
神戸大学　特命教授　　加護野　忠男　氏

関西を良くしていくことが、「関西経営品質賞」創設の目的である。関西を良くしていくためには、関西にある組織を良くしなければならない。そのために関西で良い経営をされている企業・組織を表彰させていただく。

「“良い経営”を通じて関西から世界に誇る企業・組織を輩出する」。これが関西経営品質賞のミッションである。関西にはすでに世界に通用する企業が多数あるが、さらにもっと多くの企業に世界に通用する経営をしてもらいたいと思っている。

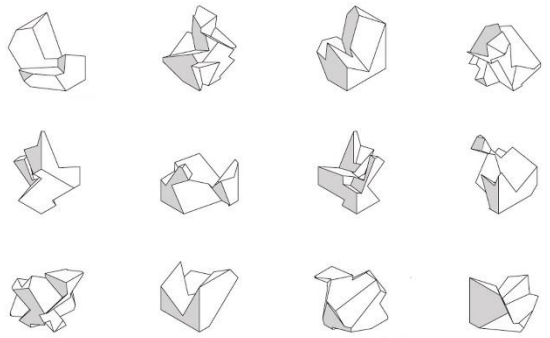
そもそも経営とは何か。経営学者として最も返答に困る設問だが、私は“良いことを上手にすること”が経営のエッセンスであると答えている。今までの生産性本部は生産性を上げて上手に仕事をすることに重点を置いていた。しかし、これからはただ単に上手に仕事をするだけではなく、「自分たちがしていることは良いことなのか」ということを常に点検し評価していくことが大切になる。

この経営品質賞では、良いことを上手にできているかどうかを外部の人に評価してもらう。現在、関西生産性本部が中心になってアセッサーを養成しているが、こうした外部の人が良い経営が行われているかどうかを評価して表彰することが経営品質賞の具体的な活動になる。

申請組織の資格は、基本的にはほとんど制限はない。関西に存立する企業・組織であれば挑戦できて、本社が関西ではなく海外や他の地域にあっても、事業所が関西にあれば資格対象組織になる。その事業所も工場だけではなく、サポート部門も含まれており、さまざまな企業・組織からの応募を期待している。

関西経営品質賞は、受賞すればそれで良しということではなく、自分たちが改善・改革してきたことをできるだけ多くの企業・組織に伝えるという伝道師の役割を果たす義務もある。受賞が最終目的ではなく、この賞を通じて全体のレベルアップを目指しているので受賞された企業・組織にはその協力を是非ともお願いしたい。

VARIATION



建築家　　安藤　忠雄　氏
（シンボルマークと受賞組織に贈られるトロフィーのデザインを担当）

可能性は一人ひとりにあるにもかかわらず、大阪は一人ひとりに元気がない。1960 年代頃からスケールメリットを追求し、企業が売上拡大を追い求めた結果、頭の刺激が不足している。人生 80 年ということを考えれば、日々、文化的・刺激的なことに関わりを持つべきだが、多くの人は無関心になっている。1 年間に 3 回、映画を見て美術館に行く人は少ない。分相応の中で全力投球し、どう生きるかということを誰しも責任ある個人として考えなかったともいえる。

私は無我夢中で仕事をしてきた。それができなくなれば仕事を辞めようと思っているが、今の日本は生き甲斐を見出すことより不満ばかりが蔓延している。古代ギリシヤやローマの滅亡は人間の退廃から始まった。日本も現状が続くなら先行きは暗い。ただ、東京だけは元気だ。しかし、あの過激な都市で生き抜くのは難しい。私は意地もあり、大阪で頑張るつもりである。

私たちは、自分のことは自分で考えなければならない。特に、大阪の人にそのことを意識してもらいたい。誰もが自分の夢に青春を賭け猛烈に頑張れば、大阪は必ず再生できる。今のままでは、私たちの子どもの時代には身動きのできない街になりかねない。

私は 1978 年からコンピュータで図面を書いているが、コンピュータは決して万能ではない。人間の頭脳とコンピュータ、つまりローテクとハイテクが上手く融合すれば素晴らしい作品ができる。

関西経営品質賞のトロフィーは、コンピュータだけで解析したものではなく、人間の手を入れなければできないもの、原理は同じでも形が毎年違うものということをコンセプトにしている。多様性あふれる時代では、個性的な違いがわかるものが尊重される。私たちは社会的能力と個人的能力を同時進行的に高めていかなければならない。今回のトロフィーは正方形が原点となっているが、多様性にあふれて時とともに変化していく、そういう願いを表現している。

【関西経営品質賞トロフィー・デザインコンセプト】

素材は透明なアクリル樹脂。
単純な立方体をある数学的規則に則って、削りだして生まれる不定形のオブジェ。
システムの初期条件を変えるだけで、無限のバリエーションが可能になる。
一つとして、同じ形のものはつくられない。
トロフィーは題して＜Ｐｏｔｅｎｔｉａｌ＞。
固定的な＜形＞のトロフィーではない。
多様性・流動性に価値が置かれる時代に相応しい、＜考え方＞が主題のトロフィーだ。

関西経営品質賞の特徴

１．　世界 100 以上の国や地域で支持された「米国マルコム・ボルドリッジ国家品質賞」に基づくプログラム

本賞の母体となった日本経営品質賞は、80年代の米国経済の復活に寄与したとされる「マルコム・ボルドリッジ国家品質賞（MB賞）」を範として1995年に創設した表彰制度です。わが国でも「経営品質向上プログラム」という形で体系化され、多くの企業や組織体で取組まれているとともに、各地域でも県知事が表彰する地域賞などが創設されています。

２．　組織の「成熟度」を審査

本賞は単に財務的数字や個々の革新的な方法論・手法を評価するものではなく、その組織が“良い経営”の実現に向けて、「どのように理想的状態を描いたか？」「現状とのギャップをどのように認識しているか？」「それを段階的にどのようなプロセスで高めようと考えているか？」「プロセスの結果をどのように踏まえて、更なる革新へ繋げているか？」という革新プロセスを組織としてどの程度まで深く掘り下げて考えられているか、という組織の革新能力（＝組織の成熟度）を評価いたします。

３．　更なる経営革新に向けた改善提言として「フィードバックレポート」を作成

本賞の審査では、組織の成熟度を把握するために、下記のプロセスに基づいて審査を行います。この審査の過程を通じて得られた審査員の気づきや考えを「フィードバックレポート」としてまとめ、審査組織へフィードバックいたします。

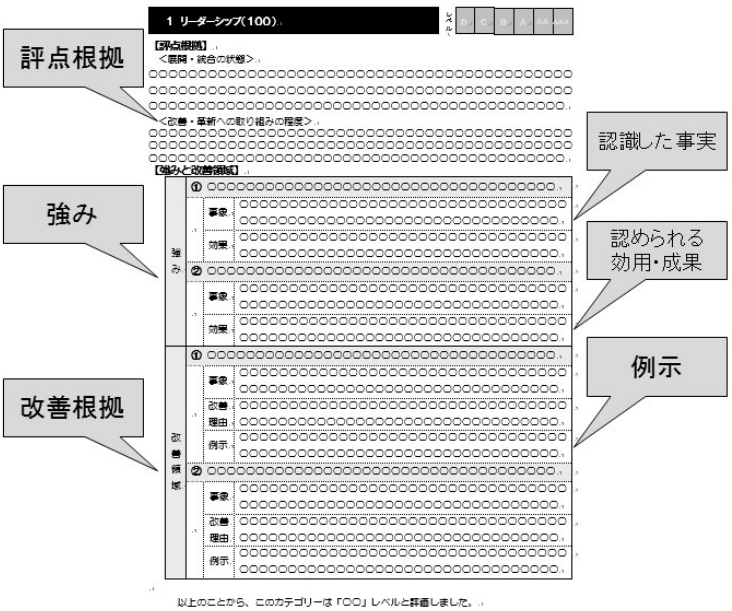
＜関西経営品質賞の審査プロセス（概略）＞

Ⅰ．申請書のご提出：“日本経営品質賞アセスメント基準” に基づく問いかけに応じて、自組織の価値観や取組み内容を記述いただきます。（Ａ４で５０ページ）

Ⅱ．書類審査・現地審査：上記の申請書による書類審査と、実際の組織の浸透度や活性度を確認する現地審査を通じて、組織の革新能力（＝成熟度）を評価します。

Ⅲ．フィードバック：審査を行った結果、単に点数をつけるのではなく、組織の強みと、更なる改善に向けた提言を記載したフィードバックレポートを作成いたします。

＜フィーバックレポートの形式＞



関西経営品質賞の歴代受賞組織

	AA(700～899)	A(500～699)	B+(400～499)	B−(300～399)
	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ
2020	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2019	該当なし	・浜理薬品工業㈱	・㈱リブドゥコーポレーション メディカル事業部門	該当なし
2018	該当なし	該当なし	・社会福祉法人 あかね ・㈱ケーイーシー ・医療法人誠仁会 りょうき歯科クリニック	・日本電子工業㈱
2017	該当なし	・㈱王宮 ホテル 宴会・宿泊部門	・㈱リブドゥコーポレーション ライフケア国内事業部門	・三和建設㈱
2016	該当なし	該当なし	・㈱王宮 道頓堀ホテル	該当なし
2015	該当なし	・㈱スーパー・コート 介護事業本部 (旧・㈱シティー・エステート 介護事業本部)	該当なし	・㈱ケーイーシー ・日本電子工業㈱ ・医療法人誠仁会 りょうき歯科クリニック
	特別賞	関西経営品質賞	優秀賞	奨励賞
2014	該当なし	該当なし	・㈱神戸ポートピアホテル ・浜理薬品工業㈱ ・レッキス工業㈱	・平安キヤノン事務機㈱
2013	該当なし	該当なし	・㈱京進 ・ノアインドアステージ㈱	該当なし
2012	該当なし	・㈱森長工務店 ・ヤチヨコアシステム㈱	・㈱伍魚福 ・㈱シティー・エステート 介護事業本部	・浜理薬品工業㈱
	特別賞	関西経営品質賞	奨励賞	
2011	該当なし	該当なし	・㈱伍魚福	
2010	該当なし	・パナソニック電工解析センター㈱	・㈱カミッグ ・㈱神戸ポートピアホテル ・㈱シティー・エステート 介護事業部 ・㈱森長工務店 ・ヤチヨコアシステム㈱	
2009	該当なし	・プライミクス㈱	・滋賀ダイハツ販売㈱ ・㈱ベル	
	大賞	イノベーション賞	ポテンシャル賞	
2008	該当なし	・パナソニック㈱モータ社 産業モータビジネスユニット	該当なし	
2007	該当なし	・㈱スーパーホテル	・㈱カミッグ	
2006	該当なし	・松下電器産業㈱ 松下ホームアプライアンス社 家庭電化事業グループ クリーナービジネスユニット	該当なし	
2005	該当なし	該当なし	・㈱遠藤照明	
	大賞	イノベーション賞		
2004	該当なし	・㈱パトライト ・松下電器産業㈱ 松下ホームアプライアンス社 エアコンデバイス事業部		

(注)2004～2014 年度の受賞基準は、現在の基準に対応させたものです。 ※組織名は受賞当時のもの

2021 年度 関西経営品質賞　概要

◆賞制度

(注)大規模部門、中小規模部門の区別はありません。

「関西経営品質賞 プラチナ」

アセスメント基準において、総合評点が概ね「ＡＡ(700 点以上)」レベル以上と認められる企業・組織に授与される。プラチナに選考される企業・組織は、関西経営品質賞の目指すミッションに相応しい“良い経営”の模範となる企業でなければならない。

「関西経営品質賞 ゴールド」

アセスメント基準において、総合評点が概ね「Ａ(500～699 点)」レベルと認められる企業・組織に授与される。

「関西経営品質賞 シルバー」

アセスメント基準において、総合評点が概ね「Ｂ＋(400～499 点)」レベルと認められる企業・組織に授与される。

「関西経営品質賞 ブロンズ」

アセスメント基準において、総合評点が概ね「Ｂ－(300～399 点)」レベルと認められる企業・組織に授与される。

◆賞を運営する組織とその役割

(敬称略・順不同　2021 年 4 月 1 日現在)

（1）賞委員会

本賞全体における最高意思決定機関で、表彰組織の最終決定・発表および、表彰制度、審査員の選考基準、審査プロセスなど本賞に関するあらゆる面について審議・決定します。

委員長	大坪　清	(公財)関西生産性本部 会長(レンゴー㈱ 代表取締役会長 兼 ＣＥＯ)
委員	岡橋　達哉	㈱りそな銀行 代表取締役副社長 兼 執行役員
	田中　宏和	(公財)関西生産性本部 副会長(連合大阪 会長)
	村田　治	(公財)関西生産性本部 副会長(関西学院大学 学長)
	平井　紀夫	元 オムロン㈱ 副社長

（2）判定委員会

各分野の専門家である学識経験者が、審査員による申請組織の審査結果及び評価レポートの妥当性、さらに表彰組織候補を判定し、関西経営品質賞委員会に推薦します。

委員長	加護野　忠男	神戸大学 社会システムイノベーションセンター 特命教授
副委員長	原田　勉	神戸大学大学院 経営学研究科教授
委員	石井　淳蔵	神戸大学 名誉教授、流通科学大学 名誉教授
	小菅　正伸	関西学院大学 副学長・商学部教授
	松山　一紀	同志社大学 社会学部産業関係学科教授

（3）賞制度企画委員会

賞制度、審査プロセス、審査員養成などの本賞に関する制度について審議・決定します。

委員長	平井　紀夫	元 オムロン㈱ 副社長
副委員長	加護野　忠男	神戸大学 社会システムイノベーションセンター 特命教授
委員	宇高　育男	コベルコ・キャリア・デベロップメント㈱ 人事施策支援室 室長
	長友　隆司	㈱Ｋａｉｒｏｓ 代表取締役
	山元　喜尚	リコージャパン㈱ 販売事業本部大阪支社事業戦略部 CIS グループ

2021年度 関西経営品質賞　応募要領

１．審査基準

当該年度の「日本経営品質賞アセスメント基準」とします。

２．申請組織の資格・制限

（１）資格

①対象組織

関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、福井県)に所在する組織

②経営品質向上プログラムの考え方にもとづくセルフアセスメントを実施していること。

③申請組織説明会への参加（状況によりＷｅｂによる配信も検討させて頂きます。）

「申請組織説明会」には経営トップおよび推進担当者の両者にご参加いただきます。

と　き：６月２８日（月）１６：００～１８：００

（２）資格制限（次に該当する組織は関西経営品質賞に申請することができません）

①同一資本グループまたは企業系列における同一機能組織の同時申請

②設立３年未満の組織

③ビジネス・サポート専門事業部やオペレーションのみを担う企業内組織

④併願申請

⑤その他：事務局が当該組織の審査実施が困難と認めた場合、申請することができません。

３．受賞組織への期待

①表彰式(関西生産性大会)での組織代表者のスピーチと受賞組織報告会での報告･資料提供

②関西経営品質協議会をはじめとする各地の経営品質協議会主催の会合での講演(原則として受賞後３年間)

③経営品質向上活動の普及･促進への協力として、関西経営品質協議会への加入と自組織のセルフアセッサーの育成を積極的に行う

４．申請費用

（１）申請費用

￥９７９,０００円（消費税 10%込）

（２）追加費用

トップインタビュー、現地審査(実施する場合)、フィードバック会議時に発生する、審査チーム(審査員 3～4 名、研修生１名)、及び事務局１名の宿泊費・食費の実費、交通費。

※トップインタビュー、現地審査(実施する場合)、フィードバック会議は、申請組織にて実施いたします。

※交通費は、下記の通り頂戴します。

関西(大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県)在住の審査員が担当する場合：一人当たり１日２,２００円(税込)頂戴します。

関西以外の審査員が担当する場合：実費請求。

※遠地への移動が伴う場合等の宿泊費・交通費等は、申請組織との協議の上、決定します。

≪本賞に関するお問合せ先≫

(公財)関西生産性本部　「関西経営品質賞」事務局（担当：揚倉(アゲクラ)、柏木)

Tel(０６)６４４４－６４６４　Fax(０６)６４４４－６４５０

https://www.kpcnet.or.jp/kqc

〒530-6691　大阪市北区中之島 6-2-27 中之島センタービル 28 階

５．関西経営品質賞への申請・審査の基本的な流れ（２０２１年度）

①応募要領の配布	4/15(木)	今年度の関西経営品質賞の申請・審査のプロセスについてリリースいたします。
②申請組織説明会	6/28(月)	申請を予定している組織の経営トップおよび推進担当者を対象に、本賞の位置づけ、役割について説明を行います。
③資格確認書の提出	7/27(火) 〆切	申請する組織は、「資格確認書」を関西経営品質賞事務局まで郵送もしくはFAXで提出いただきます。後日、確認結果を申請組織へ連絡します。
④申請書の提出	9/16(木) 〆切	「申請書」を電子ファイル(PDF)で、賞委員会事務局へ提出いただきます。
⑤書類（個別）審査	9/17(金)～ 10/15(金)	審査チーム（審査員 3～4 名、研修生 1 名、事務局 1 名）を構成し、審査員が書類審査にあたります。
⑥ﾄｯﾌﾟｲﾝﾀﾋﾞｭｰ（半日間）	10/1(金)～	審査チームが申請組織を訪問し、経営幹部にビジネスモデルや経営革新の意図・方向性についてヒアリングを行います。また、申請組織が認識している業界動向についても確認します。
⑦合議審査（２日間）	10/16(土)～	審査員が個別審査結果をもとに合議審査を行い、第1回判定委員会に向けて準備をします。
⑧第１回判定委員会	11/23(火・祝)	審査リーダーと判定委員が互いの仮説と推論を明らかにしながら、審査の方向性、表彰対象候補の検討、現地審査の有無について意見交換を行います。
⑨現地審査（３日間） 〔ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ２日、合議審査１日〕	12/1(水)～	審査チームが申請組織を訪問し、申請書の記述内容やヒアリングでの確認内容が実際にどの程度、展開され統合されているかを経営幹部や社員へのインタビューによって確認します。
⑩第２回判定委員会	12/27(月)	現地審査結果をもとに、フィードバックレポートの内容について確認します。表彰対象候補を決定し、賞委員会へ推薦します。
⑪関西経営品質賞委員会	2022 年度 1月下旬頃	判定委員長からの報告に基づき表彰組織を決定します。
⑫フィードバック会議	2 月下旬～	フィードバックレポートをより分かりやすく伝え、申請組織の疑問点に応えるために、申請組織に訪問して説明を行います。
⑬表彰式	4 月中旬	「関西生産性大会」にて表彰し、受賞組織の代表にスピーチをいただきます。
⑭関西経営品質賞報告会	6 月上旬	受賞組織の方からこれまでの経営革新活動と今後の推進の方向性などについて報告いただきます。

※　新型コロナウイルス感染拡大の状況により、Zoom 等の活用による WEB 会議方式での実施も検討いたします。

２０２１年度「関西経営品質賞　申請組織説明会」
参加申込書

本説明会において、「関西経営品質賞」へ申請することの意義や、そこから得られるメリット、また具体的なステップに関する説明会を実施いたします。

また、当年度「関西経営品質賞」へ申請される場合、経営トップ自ら関西経営品質賞へ申請することの目的・意義を再認識していただくため、経営トップの方の本説明会へのご参加を当年度の申請の必須条件とさせていただきます。（ご都合がつかない際は、事務局へご相談ください。）

と　き　２０２１年 ６月 ２８日（月）１６：００～１８：００

ところ　**(公財)関西生産性本部　会議室**　（大阪市北区中之島 6-2-27「中之島センタービル28階」）

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、Zoom 等を活用したWeb配信も検討させて頂きます。

対　象　**申請組織の経営トップ、および推進担当者**（一組織より最大３名までご参加可能）

費　用　無料

お問合せ　(公財)関西生産性本部「関西経営品質賞」事務局（揚倉・柏木）
〒530-6691　大阪市北区中之島 6-2-27　中之島センタービル 28 階
TEL（０６）６４４４－６４６４　　FAX（０６）６４４４－６４５０

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・キリトリ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

関西経営品質賞 事務局　柏木　行　FAX No.（０６）６４４４－６４５０

2021 年度 「関西経営品質賞　申請組織説明会」 参加申込書

組織名		
参加者	所　属　・　役　職　名	氏　　名
①		
②		
③		

【ご担当者連絡先】
〒　　－

Tel（　　）　　－　　Fax（　　）　　－

e-mail:

［所属・役職名］　　［氏　名］

個人情報の取扱いについて

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(https://www.kpcnet.or.jp/)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。
2. 個人情報は、本事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
4. 個人情報の開示、訂正、削除については、事業部(℡06-6444-6464)または組織部個人情報保護担当窓口(℡06-6444-6461)までお問合せください。
5. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。